

議会だより

2011年11月 北海道中川郡豊頃町議会発行



9月定例会

第3回定例会は、9月9日から開会され、補正予算など8議案を、いずれも原案どおり可決、13日は平成22年度各会計決算審査、14日に一般質問等を行なって閉会しました。



会計名	補正額	総額
一般会計	1億781万円	44億9千807万円
国民健康保険会計	1千299万円	6億2千506万円
介護保険会計	465万円	3億3千099万円
簡易水道会計	2千478万円	2億6千382万円

補正予算の主なもの

◆JR豊頃駅舎トイレ
改修に 550万円
駅トイレを水洗化に

◆福祉灯油に
180万円
65歳以上などの世帯に所得の基準により、灯油を助成

◆地域密着型老人ホーム
建設費補助金追加
1千450万円
茂岩栄町に建設中の老人ホーム建設に補助総額3億5千600万円に

◆豊頃コミセントイレ
改修に180万円
オストメイトトイレを設置

◆墓地内通路舗装に
350万円
茂岩共同墓地通路を舗装に

◆農道・明渠維持補修に
2千375万円
十弗基線農道橋梁補修外7路線の農道補修、統内南16線外29路線の明渠補修

◆町道補修工事に
926万円
豊頃9号線など3路線を補修

◆大津地区築山整備工事に
499万円
砂利を敷設し、避難場所として整備

◆台風12号被害関連に
868万円
台風12号の被害対策費用として補

表示の金額は、一万円未満を四捨五入しています。



平成22年度 各会計の歳入歳出決算を認定

各会計の歳入歳出決算額

【単位：円】

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	繰越明渠費 繰越額	実質収支額
一般会計	5,163,763,334	5,095,350,349	68,412,985	19,566,000	48,846,985
国民健康保険特別会計	658,584,039	607,399,258	51,184,781		51,184,781
介護保険特別会計	310,473,170	299,888,450	10,584,720		10,584,720
老人保健特別会計	169,905	169,905	0		0
後期高齢者医療特別会計	47,671,654	47,487,304	184,350		184,350
医療施設特別会計	149,168,030	148,950,278	217,752		217,752
簡易水道特別会計	265,844,933	263,742,947	2,101,986	208,000	1,893,986
公共下水道特別会計	218,581,566	217,914,101	667,465		667,465

平成22年度一般会計ほか7特別会計の歳入歳出決算は、町監査委員の決算審査意見書と共に提出され、本会議において審議を行った結果、各会計とも認定すべきものと決定しました。各会計の決算額は、上記のとおりです。

広報とよころ

議会だより

▽H22年度各会計の歳入歳出を認定

役場だより

主な審議内容

Q 検診を実施しているが、精密検査等が必要な町民へのフォロイは？

A 巡回ドックは生活習慣病、胃ガン等6種類の検査を実施している。精検の受診率は、80%から100%で、22年度は55人が受診。経過観察の方については定期的に保健師が連絡して健康管理を実施している。

Q 橋梁長寿命化計画現地調査を実施しているが、その結果はどのような状態なのか？

A 22年度調査では、早急に対応しなければならぬ危険な橋梁は無かった。23年度に、調査の結果をまとめて、今後の塗装・修理等の計画を立てていく。

Q とよころ担い手サポート協議会で配偶者対策を実施しているが、その内容・成果は？

A 町独自の交流会、帯広市を交えた1市4町での交流会など複数回実施しているが、積極的な参加は少ない状況。今後は、協議会と連携をとりながら、新しい方法も模索していきたい。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の任期満了に伴う
内山 寛氏（中央新町）、鳥宮慶法氏（茂岩本町）を推薦したいとの諮問があり、これに適任であると答申しました。

教育委員会委員の任命

任期満了となる教育委員会委員に
現職の種川裕章氏（礼分内）を任命すると提案があり、これに同意しました。

意見書

▶ 軽油引取税の課税免税措置などの恒久化を求める意見書

▶ エネルギー政策の転換を求める意見書

いずれも原案のとおり可決され、関係省庁に提出されました。



委員会レポート



産業厚生常任委員会で8月31日に、「農作物の作況について」所管事務調査を行いました。

農作物の作況について、町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

本年は、4月下旬の多雨により甜菜の移植作業や馬鈴薯の植付作業が遅れ、豆類についても5月下旬の多雨・低温によりは種作業が遅れたことから、作物全般に生育が遅延傾向にあり心配されていたが、6月中旬以降から高い気温が続き生育が回復傾向にある。

この時点での作物ごとの生育状況は、豆類については回復しており、莢数も多く、平年以上の収量が期待できる状況である。甜菜は、多雨のため移植が遅れ、現時点では平年より5日遅れており根形は平年より小さいが、病気も少なく、馬鈴薯は平年より小玉傾向であり玉数にバラつきがあるが、いずれも平年並みの収量が見込まれる。

牧草について、1番草は平年以上の収量があり、2番草も生育が良好。デントコーンは初期の生育が遅れたがその後回復し草丈が平年より高く、軟弱徒長の傾向がある。大根等野菜については概ね順調に生育している。なお、現地調査は行わなかったが、



すでに収穫作業の終了した秋まき小麦については、本年から『きたほなみ』の収穫となっている。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、台風12号等の影響により降雨が続き、冠水による作物への影響が懸念されるところである。

また、今後においては、病虫害による被害、霜の降りる時期によっては豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。

一部の排水不良圃場においては生育不良がみられることから、全町的に中長期的な明・暗渠排水などの農地基盤整備対策や、平成20年度から行われている土層改良を目的とした排水不良圃場への泥炭客土の継続と効果のある活用方法の検討など、安定的な収量確保に向けた対策を講じることや、本格的な収穫期を迎えるにあたり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等をおして指導を徹底されたいなどの意見が出された。

滑川市議会議員団来町

8月2〜3日に、本町の姉妹都市である富山県滑川市議会議員一行10名が来町しました。

一行は二日にわたり、大規模農場やはるにれの木など、本町を視察しました。



山口牧場（山口良一氏経営）では牛の出産風景、移動のバスからはタンチョウヅルも見学することができました。

滑川市の農業者はほとんどが兼業農家で、議員団は本町の農業経営規模の大きさと畑一区画の大きさに驚きの声をあげていました。

来年も残り半数の議員が豊頃を訪れること約束して本町を後にしました。

広報とよころ

議会だより

▽委員会レポート ほか

役場だより



一般質問

道教委による不登校等の調査について

杉野 好行議員

Q 本町の不登校・いじめの実態は？ それらに対する対応は？

A 菅原教育長

暴力行為は把握されなかったが、いじめの認知、不登校は数件認められた。これらの対応には、学校、家庭、教育委員会が連携し、日頃の未然防止、早期発見に努めている。

Q 自閉症等心意性による障害を持つ児童、生徒へのいじめの対応、また高校までの一貫した教育体制が我が町には整っているか？

A 菅原教育長

自閉症を原因とするいじめや不登校は本町では認知していない。高校の特別支援については、一町村での

対応は難しいが、十勝の枠組みの中で対応していきたい。

水害対策について

杉野 好行議員

Q 降雨水害は予見できる災害なのに台風により畑が冠水したのは？

A 宮口町長

近年は予想を超える規模の異常気象が発生しており、水位の判断も厳しい状況だった。今後も開発建設部の排水ポンプなどの出動要請を迅速に行っていく。

Q 降雨時に移動式ポンプ車による排水が行われたが、道々を通行止めにして堤防を迂回するのは危険が伴う。グレーチングのような資材で排水パイプの上を通過出来るような工夫は出来ないか？

A 宮口町長

旅来樋門における内水排除時には、安全な迂回路がないのが現状。水位が高く堤防の通行が不可能なることを想定し、専門的な分野で十分検討していく。

旧茂岩河川事務所の今後の利用について

大谷 友則議員

Q 具体的な利用計画は？

A 宮口町長

各課と協議を進めているところ。構想として、豊頃医院、子どもプラザなどの施設があることから、福祉ゾーンと位置付け、その利用を検討したい。

Q 有効活用のため地域住民の意見集約が必要と思うが？

A 宮口町長

庁舎内で協議検討して、素案が出来た時点で地域住民の意見を求めていく。



旧茂岩河川事務所

高齢者向け共同住宅建設について

大谷 友則議員

Q 町内には一人暮らしの高齢者が増えている。お互いに助け合って生活が出来る集合住宅の建設についてどう考えているか？

A 宮口町長

本町の独居高齢者は増えている。高齢者の専用住宅を積極的に検討していきたい。

Q 町内の活性化のため、高齢者対策施設に市街地の空き店舗を利用しは？

A 宮口町長

買い物などの生活が便利なところも一つの要件と思うが、病院が近くにある福祉ゾーンの中に建設するのが理想的と考える。市街地の空き店舗については、今後、商工会等と協議しながら、有効活用について検討していく。

Q 高齢者の一人暮らしは、不安が大きい。不安解消のため、グループで生活出来る住宅の建設を。

A 宮口町長

前向きに検討して、一人暮らしに対応できる環境を築いていきたい。

施設福祉の充実について

菅谷 誠議員

Q 健康で安心に暮らせる環境づくりに具体的に施設福祉が重要と考えるが、進捗状況は？

A 宮口町長

今年度策定する第5期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画で、少子高齢化が進む中で安心して子供を産み育てる環境づくりと高齢者が生き生きと暮らせる施策を展開し、福祉の向上を図る。

Q 施設福祉の充実の要となる介護士が不足しており、支援対策が必要と考えるが？

A 宮口町長

有資格者は管内的には満たされているが、地方で働く方が少なく、非常に厳しい現状にある。

Q 雇用創出拡大と人材育成のため町独自の支援体制として、就学奨励制度などの創設が必要では？

A 宮口町長

他町村で制度化しているところもあり、十分内容を検討していく。

Q 平等な福祉享受のため設置している包括支援センターは町内各施設

との調整、実行計画樹立にも関わっていると考えているが、福祉士不足の現状についての検討は？

A 宮口町長

包括支援センターでは介護認定の窓口相談を受け、専門員が調査・認定の判定等を実施している。支援活動としては事業所を集約するのものの対策と考えている。

Q 福祉の重要性と施設経営効率化に向けて運営責任者間の相互調整についてどう？

A 宮口町長

当然、施設責任者、事務責任者と十分協議しながら福祉の更なる充実を図る上で相互調整は必要であり、町からも提案・協議をする考えがある。

はるにれ友遊館の現状と今後の運営について

菅谷 誠議員

Q 5月にオープンした「はるにれ友遊館」の現状、今後の運営見直し、利用者の反応等は？

A 宮口町長

5月17日オープン以来8月末で72日間、利用者は712名で、障害を持つた方の職業訓練、就労支援を目的とした施設であり、運営指導とボランティアの方に感謝している。



はるにれ友遊館

Q 「手をつなぐ親の会」と管理委託契約をしているが、現在の金額では少なく、管理内容・労働賃金の改善が必要では？

A 宮口町長

企画課、財政担当と協議し検討する。

Q 現在、道の緊急雇用創設推進事業等の対象となり補助金があるが次年度については？

A 宮口町長

緊急雇用創設推進事業は23年度で事業終了の予定。

Q 補助対象外となった場合、町費負担となる解釈で良いか？

A 宮口町長

はるにれ友遊館の責任者と協議しながら、行政として前向きに支えていく。

議会日誌

〔8月〕

- 2～3日 滑川市議団来町
- 18日 町村議会広報研修 〓 札幌市
- 31日 農作物作況調査

〔9月〕

- 5日 議会運営委員会
- 9日 第3回定例会（1日目）
（補正予算、その他）
- 13日 第3回定例会（2日目）
（決算認定）

〔10月〕

- 14日 第3回定例会（3日目）
（一般質問、その他）
- 18日 相馬市議会議長来町

〔11月〕

- 20日 十勝議長会主催議員研修 〓 音更町
- 28日 札幌豊頃会 〓 札幌市

◎今後の予定

〔11月〕

- 5日 東京豊頃会 〓 東京都
- 15～17日 全国議長大会 〓 東京都

〔12月〕

- 中旬 第4回定例会

広報とよころ

議会だより

役員だより